

「市民との懇談の場」開催計画
(事務局案)

1. 開催趣旨

原子力に対する国民との信頼関係を確立するには、原子力関係者が安全確保を大前提に、着実に安全運転の実績を積み重ねていくことが不可欠である。そのような中で、なぜ、東京電力（株）の自主点検作業記録に係る不正記載に関する問題が起こったのか。どこに問題があるのか。徹底的な情報公開とは。また、東京電力などの問題を契機に、原子力発電運営上の安全とは何か、また安心とは何か、という観点からご意見をうかがう。

2. 開催日 平成14年11月

3. 会 場 東京都内（仙台、名古屋、大阪でも開催？）

4. 時 間 4時間（2部構成）

第1部 パネルディスカッション 2時間

第2部 コアメンバーによるディスカッション 2時間

5. 規 模 300～500名

6. テーマ ○原子力の安全・安心について

○原子力と情報公開について

－東京電力（株）の自主点検作業記録に係る不正記載に関する問題を契機として－

7. パネリスト 3名程度

（原子力技術の専門家、情報学・コミュニケーションの研究者、法律家、評論家など）

8. 報告者 東京電力（株）や経済産業省原子力安全・保安院からの取材に基づき第三者が行う。

（東京電力（株）や経済産業省原子力安全・保安院は求められたときに説明が行えるよう会場に待機する）

9. 参加者 新聞広告、原子力委員会ホームページにより一般公募。

10. 司会・進行 コアメンバーから1～2名

11. 進め方 第1部報告者からの今回の事実経過の説明後、パネリストから意見発表、会場参加市民の意見発表とパネリストと参加者が意見交換を行う。（参加者との意見交換を主体にする）

報告 10分

パネリスト意見発表 50分

会場参加市民の意見発表と 60分

パネリストとの意見交換

第2部 第1部の意見などを受けて、市民参加懇談会コアメンバーが討議
コアメンバー討議後（中）、必要に応じて会場参加市民から意見をう
かがう。 120分